

部会名 こども支援部会

	テーマ「発達障害・気になる子への支援」	テーマ「医療ケアを必要とする子への支援」	テーマ「子ども支援に関わる連携・サービス・社会資源」
今年度の取り組み	<p><機関を超えての連携のあり方を検討></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自で使用している支援ツールを持ち寄り、パンフレットやiiノートの見直し ・支援ファイルの作成を想定し、活用方法や関係機関の周知を検討 ・他市町村のファイル状況を聞き取り、支援ファイルの必要性を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ケアを必要とする子への早期介入フローチャート作成 	<p>課題：一関地域の送迎サービスの現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一関市及び他市町村の送迎サービスの事例の調査 ・市内各事業所の送迎サービス内容の調査、確認 ・市内の送迎サービスの現状と課題の分析、検討 ・市内の送迎サービスの一覧化
明らかになった課題	<p><支援ファイルについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の支援ファイルの活用状況から関係者との情報共有が円滑に進むメリットはあるが、課題として①保護者、支援機関に支援ファイルの主旨が十分伝わらず、活用が進まない、②記入者の負担が重く活用が進まない、等がある。 ・支援ファイル作成後、活用・周知を図る連携会議、協議等が必要。 ・主となる機関をどこにおくのか。教育、行政、福祉の連携が不可欠。このグループだけで解決するのは難しい。 ・保護者に支援ファイルを定着させるためには、メリットがあるものが必要。 <p><関係機関の連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・困り感（本人、家族、関係者）解決するために、個々に持っている情報を共有することが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関同士の連携が希薄であること（地域へ帰ってくる際の医療機関への情報提供および引き継ぎ） ・保育施設への就園が進まないこと（障害児保育研修の必要性） ・退院会議へ参加していないことによる介入の遅れ（会議開催システムの確立） ・相談支援専門員が就労までの支援が継続されていないこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎サービスの量としての必要性の把握 ・事業としての独立、採算性についての課題 ・一関市内の送迎サービス一覧がないこと
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・支援ファイルの作成、運用には相当量の労力が必要。支援ファイルの必要性を再検討。 他の方法（IISS, iiノートの再活用、相談会議等の拡大）も探る。 ・支援ファイルを有効活用している市町村からのヒアリング。効果、有益性を明らかにする。 ・個々に持っている情報の共有方法。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関への趣旨説明とケース選定 ・宮城（仙台）の医療機関退院会議への参加（1ケース） ・岩手（盛岡）の医療機関退院会議への参加（1ケース） ・年1回のケア会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎サービスに関するニーズ調査と分析 ・今年度調査した情報内容の精査（送迎サービス一覧等）→精査した内容で市内の送迎サービスの紹介をしたい。（福祉サービスのガイドブック等への差込み等）